

## 目次

はじめに

## I ペットビジネス・・「物」扱いされる命

- 1 悪質業者と不適正飼養…………… 1
- 2 まやかしの週齢規制…………… 14
- 3 不適切な販売方法…………… 19
- 4 いま、なぜマイクロチップの装着か…………… 24
- 5 忘れてはならない消費者の責任…………… 29

## II 動物保護団体・・道具にされる命

## III 殺処分・・翻弄される命

- 1 殺処分せいの弊害…………… 33

2	安易すぎる殺処分	40
3	殺処分の方法	41
4	動物愛護センターの役割	45

## IV 動物虐待・切り刻まれる命

1	エスカレートする虐待とみあわぬ刑罰	48
2	動物虐待の厳罰化	49
3	動物虐待のもう一つの形…ネグレクト	55
4	アニマルポリス	56
5	アニマルレスキュー110…虐待を発見したら	57
6	動物たちの地位向上のために何ができるのか	58

## V 畜産動物・実験動物

1	アニマル・ウエルフェア	62
2	産業動物のウエルフェア	64
3	実験動物とアニマル・ウエルフェア	72
4	アニマル・ウエルフェアと環境問題	74

## VI 野生動物・環境問題

- 1 SDGsと環境問題……………78
- 2 深刻な環境破壊・環境汚染……………78
- 3 野生動物・地球環境を守るためにできること…エシカル消費……………82
- 4 感染症パンデミックと環境破壊…人間中心主義の功罪……………84

あとがき

### ▼コラム

- ① 届出制・登録制・許可制……………5
- ② マイクロチップの装着……………27
- ③ ドイツのティアハイム……………31
- ④ 動物を殺しても実刑判決はありえない？…執行猶予と量刑……………51
- ⑤ 法律上、動物は「物」!?……………53
- ⑥ 動物愛護法は動物保護法なのか？……………60
- ⑦ フォアグラ規制はまだ甘い？……………69
- ⑧ 種差別……………75
- ⑨ プラスチックごみの惑星になりつつある地球……………83